

MICEアンバサダープログラム アンバサダー活動

12月11日 於)東京フォーラム
IMEシンポジウム 小宮山アンバサダーの講演

日経電子版
日経ビジネス

MICEシンポジウム2013 | REVIEW MICE
MICE = Meeting, Incentive, Convention, Event, Exhibition

世界で競争激化する国際会議招致 日本のMICEビジネス発展に向けて

12月10～11日に開催されたMICEに関する国内唯一の国際ナショナル・トレードショー「第23回 国際ミーティング・エキスポ」において、観光庁主催の「MICEシンポジウム2013」が開かれた。MICEとは国際会議など政府や企業、団体が催す会合やイベントなどを招致する注目のビジネス。大きな経済波及効果やイノベーションの機会をもたらすことから、近年は各国が力を入れている。シンポジウムでは、世界から集まったMICE業界の有識者により、日本のMICEビジネス発展に向けた講演やパネルディスカッションが展開された。

オープンイノベーションの絶好の機会である国際会議



三菱総合研究所 理事長
小宮山 宏氏

三菱総合研究所理事長で東京大学校長顧問の小宮山宏氏は「日本『再創造』と国際会議」をテーマに講演した。同氏は課題解決型の次世代社会モデルを「プラチナ社会」と定義する。

「明治維新以降、工業化した欧米との差を高度経済成長で埋めた日本。1960年代の公害、70年代のエネルギー危機を克服し、長寿社会を実現した課題解決先進国です。21世紀はプラチナ社会への転換期であり、日本はその実現に向けた中心的役割を果たす国となり得ます」

プラチナ社会実現には課題解決先進国としての魅力をさらに醸成するとともに、イノベーション拠点の整備が不可欠だ。

「例えば環境先進都市は紙炭農社会の、自立支援ロボットによる生活実験地域はロボット工学や人工知能のイノベーション拠点となります。オープンイノベーションの絶好の機会である国際会議をそのようなイノベーション拠点で開催すれば、課題解決に向けた大きな前進

12月10日 於)東京フォーラム
JNTO主催者セミナーでのパネルディスカッション
(水澤アンバサダー、山谷アンバサダー)

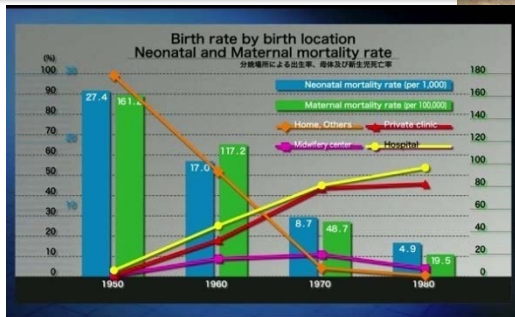


2月25日 於)六本木ヒルズ
MICE Japan 主催座談会(4月号に掲載予定)
(大西アンバサダー、長村アンバサダー、松山理事長、
ファシリテーター:川島氏)



<http://special.nikkeibp.co.jp/as/201401/kankocho/>

日本産科婦人科学会広報映像制作(木村アンバサダー)



- 文化施設、歴史的建造物、公共空間等をイベント・賓客のおもてなし空間として活用するユニークベニユーの開発・利用は海外と比較して後れを取っており、我が国においてもその積極展開が求められる。
- 観光庁では、ユニークベニユーの開発・利用促進のため、官民関係者からなるユニークベニユー利用促進協議会を設置し、これまでに3回（2013年8月19日、11月20日、12月16日）開催。あわせて、ユニークベニユーを活用したテストケースとして、「三菱一号館美術館」（同11月18日）、「文化学園服飾博物館」（同11月27日）、「国立新美術館」（同12月3日）において、モデルイベントを実施。
- 博物館・美術館を中心とした施設におけるユニークベニユーとしての利用促進・円滑化を図るための手引書（ハンドブック）を取りまとめた。

モデルイベントの事例



「三菱一号館美術館」展示室における伝統芸能披露等



「国立新美術館」エントランスロビーにおけるファッションショー開催等



ユニークベニユー HANDBOOK 博物館・美術館編

